

2014年5月15日

日本ガラス工芸学会 第39回総会・講演会のお知らせ

会員各位

薫風の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり第39回総会を開催いたす運びとなりました。また、当日会場で開催中の展覧会『徒然草』美術で楽しむ古典文学」の見学ならびに講演会の開催を予定しております。今年は古代のコアガラス技法に魅せられ、独創的な創作を続けるコアガラス作家松島巖氏をお迎えしご講演いただきます。松島氏は昨年それまで製法が謎とされていた大英博物館所蔵の四色スパイラルレース碗の再現に挑み、コアガラス技法により見事成功されました。この度の講演では、その過程の紹介を交えながら、古代技法の復元から学ぶ創作技法についてお話を伺います。

夢幻的な美しさをたたえるレース碗がいかに高度な技術でつくられたものか、古代ガラス職人の息吹に迫る松島氏のご講演になることと思います。この機会にぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

日本ガラス工芸学会

記

日時：2014年6月14（土）14：00～17：00

会場：サントリー美術館 6階ホール

受付：13：15より13：45までサントリー美術館3階入口、学会受付窓口にて。

*出席通知をいただいた会員は入館券の購入は不要です。日本ガラス工芸学会受付にてバッジ（当日に限り再入場可能）を配布いたします。

*会員以外のご同伴者の方は、学会受付にて団体料金1200円をお支払い下さい（学生500円）。また準備の都合上、講演会にご参加を希望される同伴者がある場合は、総会出欠通知にて、事前にお名前と人数をお知らせください。

*学会受付は13：45迄ですので、できるだけ遅れないようお願い致します。

次第

14：00～14：45 総会（受付13：15～13：45 3F美術館入り口専用受付）

15：00～17：00 講演会「古代ガラスから学ぶガラスの創作技法」

講師：松島 巖氏（コアガラス作家）

内容：古代ガラス器にみられるツイストケインの使用例をたどり、その延長線上にあるヘレニズム期のスパイラルレース碗の制作を中心に、再現過程を交えて講演。

17：15より 展覧会自由見学 『徒然草』美術で楽しむ古典文学」（～20：00まで開館）

以上

協力：サントリー美術館

（裏面もご覧ください）

講師紹介 松島 巖氏



コアガラス作家。富山ガラス造形研究所非常勤講師(1994～)。過去に岡山大学、多摩美術大学、東京芸術大学大学院で集中講義。日本ガラス工芸学会、民族芸術学会所属。岡山市在住。

- 1946 岡山市に生まれる
- 1970 岡山大学教育学部卒業
- 1975 独学でコアガラスの研究を始める
- 1981 現代ガラスの美 (京都国立近代美術館)
- 1982 独立して自宅に工房を開く
- 1994 World Glass Now '94 (北海道立近代美術館)
- 1999 日本のガラス 2000年 (サントリー美術館)
ガラス工芸-歴史と現在 (岡山市立オリエント美術館)
- 2000 岡山県文化奨励賞受賞
- 2001 古代ガラスの技と美 (東京 古代オリエント博物館、他)
- 2001/2004 Corning Museum of Glass, The Studio 講師 (USA)
- 2002 国際ガラス史学会に参加 (ロンドン,UK)
- 2004 海外初の個展 & SOFA New York (USA)、福武文化賞受賞
- 2005 ガラスの博物誌 (中近東文化センター)
- 2005 International Flameworking Conference に招待 (USA)
- 2006～2008 法隆寺金堂 天蓋補修のガラス玉を制作
- 2010 松島巖ガラスの世界展 - 甦るコアガラス (高梁市成羽美術館)
- 2013 古代ガラス-色彩の饗宴 (MIHO MUSEUM, 岡山市立オリエント美術館巡回)
大英博物館所蔵スパイラルレース碗を復元
Drinking Glass - 酒器のある情景 (サントリー美術館)

主な所蔵先

北海道立近代美術館、東京国立近代美術館工芸館、富山市、MIHO MUSEUM、
岡山市立オリエント美術館、The Corning Museum of Glass, etc.

著書：『コアガラス 松島巖』2010年、淡交社

問合せ先：(事前) 日本ガラス工芸学会事務局 FAX 03-3700-9140 glass@bp.ij4u.or.jp

総会当日のお問合せは学会受付担当の携帯へ：090-5803-6851 (当日のみ)